

使い捨てのプラスチック製アメニティを 無くすことによるプラごみ削減への取組

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合



滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合とは



- 【設 立】 昭和34年設立 （今年で66年を迎えます）
- 【組合員数】 滋賀県内で宿泊業を営む199社で構成されます（令和7年1月31日現在）。
- 【組合員の特徴】 小さな宿から温泉旅館、ビジネスホテル、大型のリゾートホテルに至るまで多岐に渡る宿泊施設が加盟しています。
- 【組合事業】 組合員施設の衛生管理や経営の健全化、県内の観光振興等に資するための勉強会や情報提供事業等を通じて、組合員の経営力の向上に努めています。

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 SDGs行動宣言

【滋賀県旅館・ホテルの2030年「目指す姿」】

環境と観光の共生地 ～琵琶湖を守り、琵琶湖と遊ぶ～

【行動指針】

- ① 環境の視点
- ② 社会の視点
- ③ 経済の視点

プラスチックごみの削減(歯ブラシ)

近江文化継承<食文化・地場産品の活用/地域連携の強化>(米・酒・茶)

SDGs (MLGs) に係る宿泊プラン販売による単価アップ

【具体的な数値目標】

- | | | | | | |
|---------|----------|----------------|---|------|-----|
| ① 環境の視点 | 2030年までに | アメニティのプラスチックゴミ | を | 0 | にする |
| ② 社会の視点 | 2030年までに | 滋賀県産食材の使用料 | を | 50% | にする |
| ③ 経済の視点 | 2030年までに | 客室料(2019年度比較) | を | +20% | にする |



2030年までにアメニティのプラスチックごみを0にするために 私たちが取り組んだこと

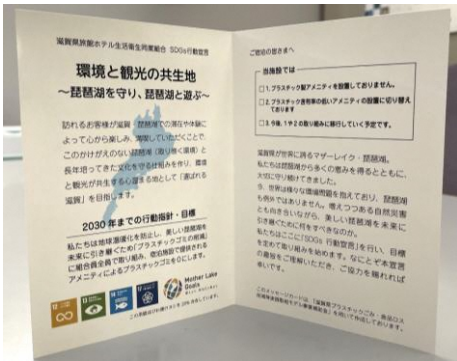
【代替品の提案】

表の廃棄部分からなる再生可能な生物資源を含む「ムギカラ」



【お客様への啓発】

お客様に理解を促し、協力を仰ぐ部屋置きメッセージカードの作成



2030年までにアメニティのプラスチックごみを0にするために 私たちが取り組んだこと

【実態把握】

組合員のアメニティ使用状況を把握するための調査の実施

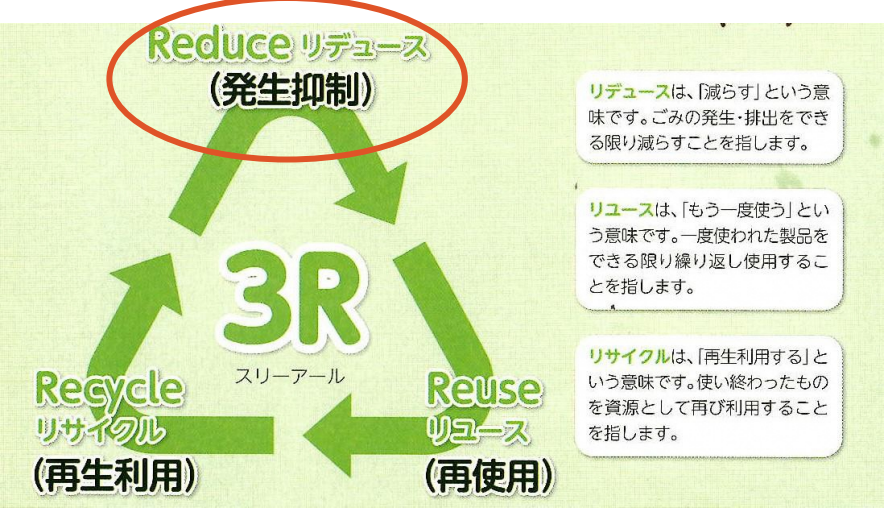
組合員施設で2022年に使用されたと推定されるプラスチック製アメニティ			
	使用量	廃棄量	CO ₂ 排出量
歯ブラシ	2,068,664本	19.9 t	127.4 t -CO ₂
髭剃り	952,692本	4.7 t	29.4 t -CO ₂
くし	583,539本	3.5 t	22.5 t -CO ₂
ヘアーブラシ	761,718本	10.9 t	69.9 t -CO ₂
シャワーキャップ	442,166枚	1.5 t	55.2 t -CO ₂

【新しい旅のスタイルの提案】

旅行の際は使い慣れた自身の衛生用品を持参する、時代に即した取組を提案



2030年までにアメニティのプラスチックごみを0にする その取組を通じて感じたこと



旅館やホテルなどお客様に提供されているアメニティは基本的に**使い捨てのごみを発生させないためにも「発生抑制」リデュースが1番！**

ご視聴ありがとうございました。
組合では「選ばれる滋賀県」を目指して
引き続き取り組みを進めて参ります。